



# 企業と生物多様性セミナー

## 日時

2015年

2月2日(月)

14時~16時30分

## 第14回 自然豊かな工場建設と地域連携



## 場所

東京情報大学  
千葉ステーションキャンパス  
(裏面地図参照)

## 対象

県内に工場・事業所がある企業関係者 70名 (参加無料)

## 主催

千葉県  
一般社団法人千葉県環境保全協議会  
一般社団法人千葉県経済協議会

## 後援

東京情報大学

## 申込・問合せ

事前申込制：千葉県自然保護課生物多様性センター企業セミナー担当宛に下記の必要事項を記載の上、メール又はFAXで、お申込みください  
締切り：1月30日(金)(必着)

hogo10@mz.pref.chiba.lg.jp

Tel 043(265)3601

Fax 043(265)3615

工場は生産の拠点であり、その建設には自然改変を伴います。しかし、その敷地を活用して地域の自然を保護回復し、環境教育や地域のNPOとの連携の拠点にすることも可能です。

今回は、このような視点から生物多様性の保全に取り組んでいるサンデングループの先進的な取組について、サンデン(株)の斉藤好弘氏に御講演をいただきます。

### ◆講演

### セミナー内容

サンデングループの生物多様性への取り組み  
～サンデンフォレスト・赤城事業所での活動～

サンデン(株) 環境推進本部 主席 斉藤 好弘氏

※詳しくは裏面をご覧ください。

### ◆報告

千葉県の絶滅危惧種ヒメコマツの現状と回復計画

千葉県生物多様性センター 副主幹 御巫 由紀

「生物多様性ちば企業ネットワーク」参加企業の取組紹介等

千葉県生物多様性センター及び「生物多様性ちば企業ネットワーク」参加企業

## 第14回 企業と生物多様性セミナー申込書

企業名		業種	
連絡先	TEL	E-mail	
参加者の所属 職・氏名	_____		

## 斉藤好弘(さいとう よしひろ)氏



サンデン (株) 環境推進本部 主席

富山大学大学院理学研究科を卒業後、1986年サンデン株式会社入社。技術本部にて、材料研究、新製品開発、洗浄剤を主にした特定フロン対策を担当。97年の環境推進本部創設に関わり現在に至る。営業拠点を含めた環境マネジメントシステム構築、LCA (Life Cycle Assessment)、MFCA (Material Flow Cost Accounting) 等の社内普及に努める。最近では、Scope3、自然資本評価を実施。ISO14052標準化対応委員会、環境ラベルプログラムアドバイザーボード等社外委員会委員。社外講演も多数実施している。

### 講演要旨

サンデングループは、1990年より従来の公害防止活動から環境保全活動へ舵を切り、製品開発・生産において、省エネ、資源循環、有害化学物質削減活動を展開してきた。環境保全を経営の重要課題として捉え、経営方針の策定をする中で、LCAやMFCA等の評価手法も積極的に導入し、それぞれの活動を活性化してきた。

2002年、工場と国内でのモノづくりを再構築するために赤城山山麓に「サンデンフォレスト・赤城事業所」を建設した。この工場は、21世紀の企業のあり方として「環境と産業の矛盾なき共存」をコンセプトに、敷地の半分を生産工場に、残りを生物多様性に配慮した森やビオトープとしている。その特徴は、①近自然工法を取り入れた開発、②生物多様性のモニタリング調査の実施、③環境と産業の教育の場の提供、④近隣NPOとの連携による環境学習拠点の形成にある。これらの活動は、外部からも高く評価され、2011年にはOECD(経済協力開発機構)から環境共存型企業の好事例として紹介され、2013年には緑化推進運動功労者・内閣総理大臣賞等を受賞している。

今回は、サンデンフォレスト・赤城事業所の4つの特徴と、生物多様性(環境問題)に対して民間企業が地域や行政とどのように連携してきたかについても説明する。

### ■ 会場案内図 ■

#### 東京情報大学

#### 千葉ステーションキャンパス

千葉市中央区新町18-10

千葉第一生命ビルディング6階

### ■ 事前申込制 ■

表面下部の必要事項を記載の上、千葉県自然保護課生物多様性センター企業セミナー担当宛に、メール 又は FAXでお申し込みください。

締切り：1月30日(金) (必着)

Email hogo10@mz.pref.chiba.lg.jp

Fax 043(265)3615



【注】 駐車場はありません